



くじエネルギー通信

第1号

～地球温暖化問題が私たちの生活に与える影響～

久慈市は2050年二酸化炭素排出実質ゼロを宣言し、これまで以上に地球温暖化対策を進めるべく、市内で適正に再生可能エネルギー導入を促進させるためのエリア設定を検討しています。

「くじエネルギー通信」では、市民の皆様へ地域の再生可能エネルギー導入へのご理解を深めていただくため、令和4～5年度にかけて合計6回、地球温暖化の現状や、近年のエネルギーをめぐる社会の動向、久慈市の再生可能エネルギー導入を促進させるための検討状況などを情報発信します。

地球温暖化の現状

約200年前、人類が石炭・石油など化石燃料の使用により二酸化炭素など温室効果ガスの排出量が増えたことで地球の空気は温められ、世界各地で平均気温が上昇しているんだよ。その結果、干ばつ、大雨や洪水などの異常気象が多く発生していて、何も対策を行わないと将来的にさらに気候変動が進み、自然災害が多発するとされているんだ。

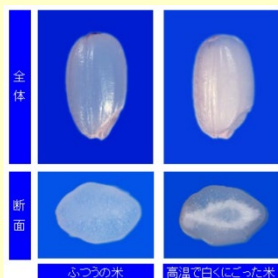


タン君



農林水産業への影響

地球温暖化により気温が高くなると、これまで収穫できた農作物、水揚げできた水産物がとれなくなり、農林水産業に大きな影響を及ぼすと言われているのよ。このまま気候変動が進むと、久慈市で生産されるお米や果物などの農作物の品質低下も心配されているわ。



＜農業への影響の事例：米の品質低下＞
出典：地球温暖化と農林水産業サイト



緑のダイヤちゃん



アマリンクイズ

私たちが日常の活動の中で使用することで、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの大量排出を招いているものは何でしょう？



①石炭・石油などの化石燃料



②葉っぱ



③ティッシュ

こたえは、裏のこのあたり↓

アマリン



地球温暖化対策の推進 ～再生可能エネルギーの最大限の利用～

現在、地球温暖化の進行により、その原因となる温室効果ガス排出量を減らしていくため、地域に豊富な再生可能エネルギーを最大限導入していくことが求められています。

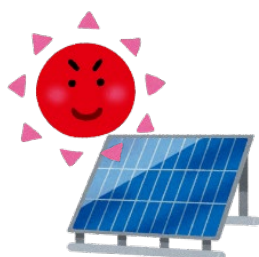
太陽光・風力・中小水力・地熱といった再生可能エネルギーは、発電時に温室効果ガスを排出しないクリーンなエネルギーです。これまで利用してきた化石燃料を再生可能エネルギーに転換していくことは、地球温暖化の抑制につながります。

久慈市は、市内の再生可能エネルギー資源の状況を分析した上で、地域に役立つ再生可能エネルギー事業を検討し、2050年カーボンニュートラルに向けて、地球温暖化対策を推進します。

くわしくは↓



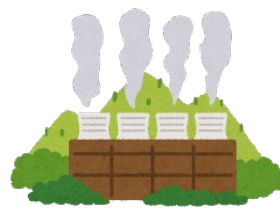
風力発電



太陽光発電



水力発電



地熱発電

陸域再生可能エネルギーゾーニング協議会を開催しました

市内で適正に再生可能エネルギー導入の促進を図るために、令和4年度7月6日(水)に「第3回陸域再生可能エネルギーゾーニング協議会」を開催しました。

専門家のほか、岩手県関連部局、市内団体の代表者などが集まり、久慈市の再生可能エネルギー促進区域の設定方針や、市民の皆様との再生可能エネルギー導入に向けた合意形成の方法などについて意見交換が行われました。



くわしくは↓



<第3回協議会の状況>

アンケート調査ご協力をお願い

市民の皆さまの再生可能エネルギー導入についての認知度・関心度を把握することや、再生可能エネルギーへの期待や気にかかること、不安などを把握することを目的にアンケート調査を行います。

ご自宅にアンケート用紙が届きましたら、ご協力をお願い致します。

■実施期間：令和4年8月4日(木)～8月29日(月)

■対象者：市内にお住まいで無作為抽出された方

■実施方法：アンケート用紙 or web による回答



アマリクイズの答え：①石炭・石油などの化石燃料
解説：発電や燃料使用で化石燃料を燃やすと二酸化炭素などの温室効果ガスが排出されるよ。